

・学年/教科	第1学年/図工科	授業者 山本 万祐子
・事例タイトル	なぞのせいぶつを作ろう	
<p>・授業の概要</p> <p>(ねらい) ○作品として作ったものを写真で保管し、大型テレビを用いて全体で共有し鑑賞し合う。</p> <p>(授業展開)</p> <p>1、テーマを決め、材料(お道具箱の中にある道具)を集め作品を作る。</p> <p>2、ペンの太さや色を工夫し、スタンプなどを活用する。</p> <p>3、タブレットで発表をカメラで撮る時、相手に伝わりやすい工夫を考える。</p> <p>4、全体発表(大型テレビに映して頑張ったところや友だちのいいところを話し合う。)</p>		
  		
<p>・使用した ICT 機器と機能など、使用した感想など</p> <p>○使用機器 タブレット 1人1台 ○使用機能 スカイメニュー(投影・マーキング・比較)</p>		
<p>・伏山 STEPS との関連</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>S(スキル) <input checked="" type="checkbox"/>T(ツール) <input checked="" type="checkbox"/>E(エクスプローラー) <input type="checkbox"/>P(プログラミング) <input type="checkbox"/>セキュリティー</p>		
<p>・タブレット活用により期待できる効果やねらい</p> <p>○全員の学習方法や資料が自分のペースで見て考えることができる。 ○スカイメニューのマーキング機能を活用することで、児童の集中力が向上する。</p>		
<p>・実践の感想、成果、子どもの変容や反応など</p> <p>○カメラでの撮影時にピントを合わせるのが難しかった。 ○発表している内容が視覚・聴覚から入ることにより児童の集中力と理解力が向上した。 ○児童の「わかった」「できた」という思いが、次への学習意欲と積極性につながったと思う。</p>		